

各 位

会社名 日本金属株式会社  
 代表者名 取締役社長 下川 康志  
 (コード: 5491 東証プライム)  
 問合せ先 常務執行役員財務部長 丸山 尚之  
 (TEL 03-5765-8105)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表いたしました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2023年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりといたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

## ① 2023年3月期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	55,000	1,300	1,300	700	104.57
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	49,117	1,437	1,337	2,517	376.10

## ② 2023年3月期個別業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	46,000	300	400	100	14.94
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	39,838	329	338	1,788	267.09

## (修正の理由)

2022年5月12日の決算発表時点では、当期の業績予想を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の市況動向等を踏まえ、上記のとおり業績予想を公表いたします。

当社グループを取り巻く環境は、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰影響や中国のゼロコロナ政策によるサプライチェーンの混乱、金融為替市場における円安進行などの阻害要因により、先行き不透明な状況が継続するものと思われます。今後も、主要顧客の多い自動車関連用途におきまして、自動車生産台数の回復遅れが懸念されることから工場の稼働率低下・生産効率の悪化が予想され、さらにエネルギー、原材料、副資材等の価格高騰により原価率の上昇が避けられない見通しです。

個別の業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正するものです。

## 2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	0.00	—	5.00	5.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2022年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

### (修正の理由)

当社板橋工場第三圧延工場の復旧により生産体制が正常化し、みがき帯鋼事業の今後の利益回復が見込めることを踏まえ、当期末からの復配を予定しております。配当金額は、株主の皆様への安定的かつ継続的な配当を念頭に、1株当たり5円とする予定であります。

### (注)

上記の予想数値につきましては、本資料作成日現在で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上